

**県本部
第4回単組代表者会議**
3月23日(水) 15:00
福島市「福島グリーンパレス」

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:jichou@jichiro-fukushima.or.jp

第830号
2022年(令和4年)
3月8日
福島市荒町1-21
自治労福島県本部
発行人 澤田 精一



福島県本部 第110回臨時大会 ハイブリット開催

参加する春闘へ結集を 2022春闘方針を決定

自治労福島県本部は、2月8日福島市「パルセイイざか」で第110回臨時大会を対面・ウェブ併用で開催した。県内から代表議員142名が参加し、すべての議案が賛成多数で可決決定された。



あいさつをする澤田中央執行委員長

第110回臨時大会は、議長に原職連合南会津支部佐藤寛喜代表議員を選出し進められた。澤田中央執行委員長は「県本部の機関会議として初めての対面・ウェブの併用、さらに電子投票システムを利用したの開催となる。代表議員の皆様のご理解とご協力をお願いする。新型コロナウイルス感染症拡大の中、住民の命と暮らし、社会生活基盤を守るため奮闘している組合員の皆様に敬意を表す。2022春闘、自治労共済の加入拡大、7月の参議院選挙「鬼木まこと」の取り組みの強化をお願いする。県本部の方針をさらに強固なものとするため活発な議論をお願いする」との挨拶があった。



また、中野大会書記長から自治労本部川本中央執行委員長、連合福島今野会長からのメッセージを披露した。

報告・承認事項

執行部・会計監査委員から、2022年度一般経過報告、中間決算報告、会計監査報告、定期大会の議事録の承認、救済委員会の決定事項の承認、組織財政委員会に対する諮問と答申の承認について報告を行った。

経過に対して、伊達市職労八巻代表議員から「伊達市長選では1期目の総括・検証、組合員からの意見などのプロセスを丁寧に行い推薦決定した。結果は7,000票の大差で承認された。」との発言があった。

議案

議案については、第1号から第7号まで一括して提案を行い、提案後、単組からの事前質疑について根本書記長が答弁した。

事前質疑

須賀川市職労 島田代議員
定年延長に関して当局は今年9月議会で条例を改正する予定であるが、具体的な内容について国や県の動向を踏まえており、60歳以降の働き方や職務等については未だ不透明な状況で、今後定年延長に係る要求書を提出し交渉に入る。県本部には、60歳以降の働き方についての具体的な業務内容が望ましいか、具体的な情報提供をお願いする。



対面・ウェブで開催した県本部第110回臨時大会

執行部答弁

定年引き上げに伴う、60歳以降の働き方として職務や配置ポストについては制度導入にあたっては、運用改善などにより60歳までの給料水準を引き上げていくことが重要である。また、制度移行期間中は同じ仕事をしながらも賃金格差が生じる。再任用職員の職務、給与等の抜本的な見直しを求めていく必要がある。県本部として単組の取り組み状況を把握し、学習会を開催する。

福島市職労

今年度共済加入率が80%を割り、危機的な状況と認識している。共済推進の取り組みにあたり、抜本的な支援を行っていく。必要に応じて、共済環境の整備を求めている。県本部として情報提供を含め、必要な支援を行っていく。

いわき市職連合

今年度共済加入率の引上げについて、2年連続のマイナス改定に対し、勤務・労働条件の維持・改善に向け一定の前進回答を引き出すことができたことから、秋の秋要求については、「組合アンケート」に基づき要求書を踏まえ、適正な人員配置を行うことなど5項目について交渉し、「職員の士気を確保するための措置を講ずること」を要求した。引き続き要求を続けていく。

審議された議案

議案第1号	2021秋季確定闘争の総括(案)
議案第2号	自治労福島県本部2022春闘方針(案)
議案第3号	当面の闘争方針(案)
議案第4号	2022年度一般会計・特別会計補正予算(案)
議案第5号	県本部離職専従役員の登録変更及び取り消しと県職連合離職専従役員の準登録について(案)
議案第6号	県本部特別執行委員の選出について(案)
議案第7号	上部団体等役員並びに各種委員会の委員の選任について(案)

須賀川市職労
定年引き上げに伴う、60歳以降の働き方として職務や配置ポストについては制度導入にあたっては、運用改善などにより60歳までの給料水準を引き上げていくことが重要である。また、制度移行期間中は同じ仕事をしながらも賃金格差が生じる。再任用職員の職務、給与等の抜本的な見直しを求めていく必要がある。県本部として単組の取り組み状況を把握し、学習会を開催する。

喜多方市職労
今年度共済加入率が80%を割り、危機的な状況と認識している。共済推進の取り組みにあたり、抜本的な支援を行っていく。必要に応じて、共済環境の整備を求めている。県本部として情報提供を含め、必要な支援を行っていく。

いわき市職連合
今年度共済加入率の引上げについて、2年連続のマイナス改定に対し、勤務・労働条件の維持・改善に向け一定の前進回答を引き出すことができたことから、秋の秋要求については、「組合アンケート」に基づき要求書を踏まえ、適正な人員配置を行うことなど5項目について交渉し、「職員の士気を確保するための措置を講ずること」を要求した。引き続き要求を続けていく。

こと」を要求した。引き続き要求を続けていく。また、現業・公企統一要求で現業職員の採用について「調理員について令和4年度3人の採用、令和5年度以降も3人をペースとして採用することを検討」との回答を引き出すことができた。春闘については、1職に、単組代表者会議で取り決め、要求書提出、団体交渉を実施していく。県本部には、取り組みのアドバイスや研修への講師の派遣など引き続き支援をお願いする。

定年引き上げに伴う、60歳以降の働き方については、運用改善などにより60歳までの給料水準を引き上げていくことが重要である。また、制度移行期間中は同じ仕事をしながらも賃金格差が生じる。再任用職員の職務、給与等の抜本的な見直しを求めていく必要がある。県本部として単組の取り組み状況を把握し、学習会を開催する。

常勤職員と会計年度任用職員の均衡について、勤労手当を除く賃金と労働条件について常勤職員との均衡を求め、その後勤労手当の支給を求めている。

定年引き上げに伴う職員定数は、柔軟な対応と計画的な新規採用者の確保とあわせて本部に求められている。

不妊治療休暇の導入状況は第1次オルグで確認し、未導入の場合は春闘での要求交渉を求める。退職後共済を利用する場合は「退職者会への加入」を運動体としての加入要件としている。

共済の推進については、「全単組における年一回以上の学習会の開催」を目標に取り組みを強化することを県本部共済推進委員会が決定し、共済推進単代会議で説明する。



団結ガバローで大会を終了した

コロナ禍で在宅によるリモートワークが進められており、当局は在宅勤務時の超勤は認めないとしていますが組合員は平日退庁時、土日もパソコンの電源も切らずに帰宅し、



り敬意を表する。春闘においては、「1職場1要求アンケート」に取り組み、要求書の提出、団体交渉に実施する決意も頂いた。春闘、組織強化、学習会の講師派遣等単組の取り組みを支援している。執行部答弁後、当日の質疑を求めた。

質疑

福島県職連合 大内代議員 春闘については、春闘パンフを作成、支部・分会学習会を開催し、春闘を取り組む意義や情勢・課題の共有をはかり、各種行動を取り組み、3月10日に総務部長交渉を実施し、要求前進をはかる。



いわき市職連合 緑川代議員 定年延長については、今春闘の重要な取り組みとなる。技能労働職、保育士は体力が大きく影響する職種であり、定年延長による働き方の影響は大きいと考える。すべての保育所を対象に学習とアンケート調査を行い、春闘要求に意見反映し、

いわき市職連合 60歳以降の働き方として職務やポストについて確認し、加齢困難職場の課題について、あらためて職場環境の整備など定年まで安心して働き続けられるよう求めていただきたい。

定年延長については、役職定年の考え方や退職者が出ない年の新規採用の考え方など人事管理の在り方を春闘交渉で追求する。

県職連合の次期執行体制では離職専従役員の数配置を追求し議論を進めてきた。議案第5号について代議員のご理解をお願いしたい。

執行部答弁 春闘の取り組みとして学習会を開催し職場からの改善につなげていきたい。在宅での超勤について実態調査と対応を含め確認をお願いする。実態について本部に報告し具体的な取り組みを定める。定年延長について春闘交渉で当局の考えを引き出し、今後の人員要求に活かしていただきたい。離職専従役員の複数配置について議案第5号で提起しているように具体的な対応を進めていく。

定年まで健康的に安心して働き続けられる職場環境を目指し取り組みを進める。

執行部答弁

福島県職連合

春闘の取り組みとして学習会を開催し職場からの改善につなげていきたい。在宅での超勤について実態調査と対応を含め確認をお願いする。実態について本部に報告し具体的な取り組みを定める。定年延長について春闘交渉で当局の考えを引き出し、今後の人員要求に活かしていただきたい。離職専従役員の複数配置について議案第5号で提起しているように具体的な対応を進めていく。

定年まで健康的に安心して働き続けられる職場環境を目指し取り組みを進める。

執行部答弁

福島県職連合

春闘の取り組みとして学習会を開催し職場からの改善につなげていきたい。在宅での超勤について実態調査と対応を含め確認をお願いする。実態について本部に報告し具体的な取り組みを定める。定年延長について春闘交渉で当局の考えを引き出し、今後の人員要求に活かしていただきたい。離職専従役員の複数配置について議案第5号で提起しているように具体的な対応を進めていく。

定年まで健康的に安心して働き続けられる職場環境を目指し取り組みを進める。

執行部答弁

福島県職連合

春闘の取り組みとして学習会を開催し職場からの改善につなげていきたい。在宅での超勤について実態調査と対応を含め確認をお願いする。実態について本部に報告し具体的な取り組みを定める。定年延長について春闘交渉で当局の考えを引き出し、今後の人員要求に活かしていただきたい。離職専従役員の複数配置について議案第5号で提起しているように具体的な対応を進めていく。

定年まで健康的に安心して働き続けられる職場環境を目指し取り組みを進める。

執行部答弁

福島県職連合

春闘の取り組みとして学習会を開催し職場からの改善につなげていきたい。在宅での超勤について実態調査と対応を含め確認をお願いする。実態について本部に報告し具体的な取り組みを定める。定年延長について春闘交渉で当局の考えを引き出し、今後の人員要求に活かしていただきたい。離職専従役員の複数配置について議案第5号で提起しているように具体的な対応を進めていく。

定年まで健康的に安心して働き続けられる職場環境を目指し取り組みを進める。

執行部答弁

福島県職連合

春闘の取り組みとして学習会を開催し職場からの改善につなげていきたい。在宅での超勤について実態調査と対応を含め確認をお願いする。実態について本部に報告し具体的な取り組みを定める。定年延長について春闘交渉で当局の考えを引き出し、今後の人員要求に活かしていただきたい。離職専従役員の複数配置について議案第5号で提起しているように具体的な対応を進めていく。

定年まで健康的に安心して働き続けられる職場環境を目指し取り組みを進める。

執行部答弁

福島県職連合

春闘の取り組みとして学習会を開催し職場からの改善につなげていきたい。在宅での超勤について実態調査と対応を含め確認をお願いする。実態について本部に報告し具体的な取り組みを定める。定年延長について春闘交渉で当局の考えを引き出し、今後の人員要求に活かしていただきたい。離職専従役員の複数配置について議案第5号で提起しているように具体的な対応を進めていく。

ろうきん
東北労働金庫 福島県本部
〒960-8105 福島市仲間町4番8号
TEL: 024-521-2515 FAX: 024-523-4660
東北ろうきん 検索

ろうきんキャッシュカードなら、ATMお引出し手数料が **0円**
ろうきんアンバサダー 高梨 臨
2022年2月1日現在
※ご利用手数料をいったんご負担いただく場合がございますが、即時キャッシュバックいたします。

第26回参議院全国比例区選挙 自治労組織内候補予定者
鬼木 まこと
おにき
自治労は、第26回参議院選挙の全国比例区に「鬼木まこと」さんの擁立を決定しました。
LINE公式アカウントの「おにき」は、なってます！

自治労福島新年特集号
お年玉クイズ当選者発表
県本部賞 穂積 智美さん (白河市職労)
鈴木 安和さん (県職連合南会支部)

- ①自治労福島県本部賞
 - 商品券5万円 2本
 - 穂積 智美 (白河市職労)
 - 鈴木 安和 (県職連合南会支部)
- ②全労済自治労共済賞
 - 「カタログギフト5千円相当」 10本
 - 武藤 花 (福島市職労)
 - 山澤 絵美子 (福島市職労)
 - 六沢 幸也 (川俣町職労)
 - 菅野 恵梨華 (桑折町職労)
 - 角田 優 (西郷村職労)
 - 高津 優 (天栄村職労)
 - 成田 一成 (会津坂下町職労)
 - 中野 夕華子 (浪江町職労)
 - 安田 裕美 (県職医大支部)
 - 飯塚 知徳 (県職南会支部)
- ③自治労県本部お年玉賞
 - 「カタログギフト千円」 30本
 - 佐藤 広昭 (福島市職労)
 - 安田 周平 (福島市職労)
 - 菅野 宏行 (伊達市職労)
 - 高野 可南子 (伊達市職労)
 - 三瓶 天輔 (二本松市職労)
 - 平城 吉春 (川俣町職労)
 - 武田 朋之 (土地運労組)
 - 村上 正紀 (須賀川市職労)
 - 浅賀 政克 (棚倉町職労)
 - 佐々木みさ子 (古殿町職労)
 - 尾形 浩 (西郷村職労)
 - 眞壁 光司 (鏡石町職労)
 - 角田 幸生 (石川町職労)
- ④東北労働金庫福島県本部賞
 - 「カタログギフト万円相当」 2本
 - 三留 怜奈 (会津若松市職労)
 - 渡部 建 (磐梯町職労)
- ⑤こくみん共済coop福島推進本部賞
 - 「図書カード5千円」 4本
 - 渡邊 盛宏 (福島市職労)
 - 千葉 覚史 (二本松市職労)
 - 小寺 理奈 (南会津町職労)
 - 近藤 剛 (県職北会支部)

お年玉クイズの答え...
たいおんけい
抽選する澤田委員長 (左) と根本書記長

★火災共済に30口以上加入している場合にセットできます
個人賠償責任共済
他人の物を壊したり他人を負傷させてしまったときの損害賠償を保障
保障の範囲は1契約で家族分
全国で進んでいる自転車保険の義務化・努力義務化にも個人賠償責任共済なら対応できます!
最高保障額 3億円
掛金は組合によっては年払となります。不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

住みいる共済の掛金に**月額200円**のプラスで
こんなことで法律上の賠償責任を負ったときに保障
例えは...
子どもが自転車で他人にけがをさせた
洗濯機が壊れて階下を水浸しにした

こくみん共済 NEWS 51209024
住みいる共済
火災共済・自然災害共済
こくみん共済(金共済) 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部
全日本自治労労働者共済生活協同組合
「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(元)の共済生協の組合員となることで各組合共済制度をご利用いただけます。